

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年1月23日(2020.1.23)

【公表番号】特表2019-535179(P2019-535179A)

【公表日】令和1年12月5日(2019.12.5)

【年通号数】公開・登録公報2019-049

【出願番号】特願2019-516418(P2019-516418)

【国際特許分類】

H 04 B	7/06	(2006.01)
H 04 W	16/28	(2009.01)
H 04 W	72/04	(2009.01)
H 04 B	17/24	(2015.01)
H 04 B	7/08	(2006.01)

【F I】

H 04 B	7/06	9 6 0
H 04 W	16/28	
H 04 W	72/04	1 3 6
H 04 B	17/24	
H 04 B	7/08	8 0 2
H 04 B	7/06	9 5 6
H 04 B	7/08	8 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月30日(2019.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ機器(UE)によるワイヤレス通信のための方法であって、

シンボル部分における異なるシンボルで基地局(BS)の送信ビームまたは前記UEの受信ビームのうちの少なくとも1つが走査されるビームシーケンスを決定するステップであって

前記UEは、

前記異なるシンボルの各シンボルにおいて、前記BSの異なる送信ビームを受信するように、前記異なるシンボルにわたって同一の擬似オムニ受信ビームを使用するか、または、

前記BSの疑似オムニ送信ビームを受信するように、前記異なるシンボルの各シンボルにおいて、異なる受信ビームを使用する、ステップと、

前記ビームシーケンスに基づいてビームトレーニング手順に参加するステップとを含む方法。

【請求項2】

前記ビームシーケンスに関する情報を含む前記BSからのシグナリングを受信するステップ

をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

特定の帯域幅またはサブバンドでの異なる送信受信ビームペアに対する測定に基づいて、前記BSに報告を送るステップ

をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記報告は、異なるパネルまたは偏波に基づく複数の送信および受信ビームペア候補にわたる複素数値信号比較に基づく、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記報告は、異なるポートまたは無線周波数(RF)チェーンにわたるポストビームフォーミング受信信号ベクトルに基づく共分散行列の少なくとも一部分を含む、請求項3に記載の方法。

【請求項6】

前記ビームシーケンスは、前記UEについて確立されたビームペアリンク(BPL)において、前記BSの既存の送信ビームを精緻化するためのP2手順のために使用される、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記ビームシーケンスは、前記BSについて確立されたビームペアリンク(BPL)において、前記UEの既存の受信ビームを精緻化するためのP3手順のために使用される、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

ワイヤレス通信のための装置であって、

シンボル部分における異なるシンボルで基地局(BS)の送信ビームまたは前記装置の受信ビームのうちの少なくとも1つが走査されるビームシーケンスを決定するための手段であって、

前記装置は、

前記異なるシンボルの各シンボルにおいて、前記BSの異なる送信ビームを受信するよう

に、前記異なるシンボルにわたって同一の擬似オムニ受信ビームを使用するか、または、

前記BSの疑似オムニ送信ビームを受信するように、前記異なるシンボルの各シンボルに

おいて、異なる受信ビームを使用する、手段と、

前記ビームシーケンスに基づいてビームトレーニング手順に参加するための手段とを含む装置。

【請求項9】

前記ビームシーケンスに関する情報を含む前記BSからのシグナリングを受信するための手段

をさらに含む、請求項8に記載の装置。

【請求項10】

基地局(BS)によるワイヤレス通信のための方法であって、

シンボル部分における異なるシンボルで前記BSの送信ビームまたはユーザ機器(UE)の受信ビームのうちの少なくとも1つが走査されるビームシーケンスを決定するステップであって、

前記BSは、

前記異なるシンボルの各シンボルにおいて、前記UEの異なる受信ビームを受信するよう

に、前記異なるシンボルにわたって同一の擬似オムニ送信ビームを使用するか、または、

前記UEの疑似オムニ受信ビームを受信するように、前記異なるシンボルの各シンボルに

おいて、異なる送信ビームを使用する、ステップと、

前記ビームシーケンスに基づいてビームトレーニング手順に参加するステップとを含む方法。

【請求項11】

前記ビームシーケンスに関する情報を含む前記UEへのシグナリングを送信するステップ

をさらに含む、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

前記UEから報告を受信するステップであって、前記報告は、特定の帯域幅またはサブバ

ンドでの異なる送信受信ビームペアに対する測定に基づく、ステップをさらに含む、請求項10に記載の方法。

【請求項13】

前記報告は、異なるパネルまたは偏波に基づく複数の送信および受信ビームペア候補にわたる複素数値信号比較に基づく、請求項12に記載の方法。

【請求項14】

前記報告は、異なるポートまたは無線周波数(RF)チェーンにわたるポストビームフォーミング受信信号ベクトルに基づく共分散行列の少なくとも一部分を含む、請求項12に記載の方法。

【請求項15】

前記ビームシーケンスは、前記UEについて確立されたビームペアリンク(BPL)において、前記BSの既存の送信ビームを精緻化するためのP2手順のために使用される、請求項10に記載の方法。

【請求項16】

前記ビームシーケンスは、前記BSについて確立されたビームペアリンク(BPL)において、前記UEの既存の受信ビームを精緻化するためのP3手順のために使用される、請求項10に記載の方法。

【請求項17】

ワイヤレス通信のための装置であって、

シンボル部分における異なるシンボルで前記装置の送信ビームまたはユーザ機器(UE)の受信ビームのうちの少なくとも1つが走査されるビームシーケンスを決定するための手段であって、

前記UEは、

前記異なるシンボルの各シンボルにおいて、前記UEの異なる受信ビームを受信するように、前記異なるシンボルにわたって同一の擬似オムニ送信ビームを使用するか、または、

前記UEの疑似オムニ受信ビームを受信するように、前記異なるシンボルの各シンボルにおいて、異なる送信ビームを使用する、手段と、

前記ビームシーケンスに基づいてビームトレーニング手順に参加するための手段とを含む装置。

【請求項18】

前記ビームシーケンスに関する情報を含む前記UEへのシグナリングを送信するための手段

をさらに含む、請求項17に記載の装置。